

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



事業管理者より
新年のあいさつ

天災は忘れた頃に・・・

市立芦屋病院事業管理者 佐治 文隆



新年おめでとうございます。

昨年はデフレ脱却のかけ声とともに日本経済がやや好転し、就職難からむしろ求人難が叫ばれるようになり、曇天に薄日がさしてきたようなわが国でした。その一方で、消費税増税に追い打ちをかけるような円安による物価上昇が加わり、庶民にとってはアベノミクスの成果も功罪半ばと言えましょう。社会保障費に充当する目的で、今年秋に予定されていた消費税の再増税は先送りされましたが、21世紀における日本国民の安心・安全をもたらす強固な社会福祉基盤が早急に構築されることを心から願っています。

本年はあの阪神・淡路大震災から20周年になります。関東とことなり、関西とくに阪神間は地震とは無縁と信じていたのが、何の根拠もない思い込みであったことを如実に知らされた20年前の1月17日でした。芦屋市では阪神・淡路大震災の記憶を風化させない目的で、平成26年度に震災20周年事業が企画・実行されています。当院も昨年11月の「芦屋ホスピタルフェスタ2014」において、地震をはじめとする災害発生時のトリアージ訓練を行い、災害時の職員の対応を確認いたしました。また、12月には「阪神・淡路大震災をのりこえて！」をメイン・テーマに「大震災に学ぶところのケア」に関する講演会を開催しました。震災直後に始まった「芦屋病院マチネーコンサート」の200回記念演奏会も併せて行い、多数のご来場者を迎えることが出来ました。

昨年夏から秋にかけて想像を絶する災害が発生し、多くの死傷者、行方不明者を出したのは、まだ記憶に新しいところです。広島市の豪雨による同時多発大規模土砂災害にしても、戦後最悪の火山災害となった御嶽山の噴火も、被害者の皆さんにとってまさに寝耳に水や青天の霹靂の出来事だったと思います。災害が起こってしまったから検証すると、多くの「タラ」「レバ」が存在するのは世の常です。予知、予想はもちろん重要ですが、災害発生後の適切な対応を地域住民に頼られる医療機関として自覚してまいります。

昨年度の診療報酬のマイナス改定は、前年度好転化した当院の経営にとって厳しい状況を生み出しています。とは言え地域医療を守る要の病院の一つとして、市内や近隣の診療施設と連携を密にして、良質の医療の提供を主目的に病院運営を図ってまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



冬の公開講座のご案内 ～毎日を健康に楽しく過ごすためにできること～



場所 芦屋市民センター 401号室

時間 午後2時～午後3時30分

料金 1回 200円

問い合わせ先 芦屋市立公民館
(0797-35-0700)

日程	内容	講師
1月31日(土)	孫や子供の救急医療 ～知って得する豆知識～	小児科 磯野 員倫 医師
2月14日(土)	薬にまつわるトピックス (飲み合わせ、ジェネリック、治験)	薬剤科 岡本 禎晃 薬剤師
3月14日(土)	腹腔鏡下手術あれこれ	外科 三方 彰喜 医師

産婦人科のご紹介

～新しい医師が着任しました～

産婦人科 部長 木村俊夫

当院では体外受精などの生殖医療以外はほぼすべての疾患に対応しています。

当院の特徴として、今までは近隣の医療施設ではほとんど対応していない女性泌尿器疾患の手術を中心に行ってきました。女性特有の疾患である子宮脱(子宮が下垂する病気)や膀胱瘤などの骨盤臓器脱や尿漏れは、海外のデータでは生涯約1-2割に手術が必要とされる一般的疾患であります。それらに対し最新の治療・手術を行っています。

もうひとつの特徴として、子宮鏡手術や腹腔鏡手術などの低侵襲手術を導入し、可能な限り対応してきました。これまでは腹腔鏡手術が困難と予想される症例では、大阪大学から腹腔鏡専門医を招へいし、従来であれば開腹手術が必要な症例に対しても腹腔鏡手術を行ってきましたが、平成26年11月より、全国的にも屈指の婦人科腹腔鏡施設である大阪中央病院より、腹腔鏡技術認定医である錢先生が赴任されました。これにより腹腔鏡手術の適応疾患も拡大し、これまででは困難であった症例でも腹腔鏡にて対応できるようになります。兵庫県では、まだまだ腹腔鏡を積極的に取り入れる施設が少ないのが現状ですが、阪神間における産婦人科腹腔鏡手術の中心的医療機関になれるよう尽力します。

子宮がん(子宮頸がん・子宮体癌など)、卵巣癌などの悪性疾患の手術も行っています。術後に抗がん剤治療が必要な場合には、抗がん剤の専門医である腫瘍内科と協力しながら追加治療も行っています。



せん 鴻武
こうぶ

専門分野 一般産婦人科
内視鏡手術
骨盤臓器脱

経歴紹介

平成15年4月 聖路加国際病院 産婦人科
平成18年7月 田附興風会 医学研究所
北野病院 女性骨盤外科センター
平成22年4月 健保連 大阪中央病院 婦人科

資格

日本産婦人科学会専門医
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
日本外科内視鏡学会技術認定

ごあいさつ

11月から産婦人科に着任しました。兵庫県内では数少ない内視鏡学会の技術認定医として、より高度で安全な内視鏡手術の提供と普及に尽力していきたいと思っています。子宮筋腫や卵巣嚢腫、子宮内膜症などの様々な良性疾患に対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

子宮がん検診&乳がん検診も実施しています!!

子宮がん検診、乳がん検診は
2年に1回の受診となります

子宮がん検診

- 対象** 市内在住の20歳以上の女性
- 内容** 問診、診察、細胞診(頸部)
- 料金** 1,000円
(70歳以上の方は無料となります)

検診は平日月～金曜日の午前中に実施しております。
検診のご予約は…

市立芦屋病院 医事課検診担当 **TEL 0797-31-2156**(代表)
(受付時間は午前10時～午後5時までとなっております)

乳がん検診(マンモグラフィ併用健診)

- 対象** 市内在住の40歳以上の女性
- 内容** 問診、触診、マンモグラフィ
- 料金** 2,000円(70歳以上の方は無料となります)
市内在住の30歳～39歳の女性には問診、
触診のみの乳がん検診もごさいます(料金:400円)

骨密度測定装置(DEXA法)を導入しました!!

骨粗しょう症は骨の強度が弱くなり、骨折をしやすくなる病気です。一般に骨の強度は骨量あるいは骨密度が70%、骨質が30%影響すると言われています。したがって、骨の強度の重要な要因である骨量(密度)を測定することで骨粗しょう症の診断や骨折をしやすいかどうかの評価が可能となります。その測定装置として、腰椎または股関節に2種類のエネルギーのX線を照射し、X線の骨による吸収の差を利用し骨量(密度)を測定します。この方法をDEXA(デキサ)=Dual Energy X-ray Absorptiometry法といいます。



現時点では腰椎または股関節のDEXA法が最も信頼の高い骨密度測定法であり、骨粗鬆症診断基準(2011年版)でもこの方法を用いて計測することが推奨されています。当院においても本年10月より導入し、稼働しています。検査時間は約10分で痛みもありません。検査を希望される方は医師にご相談ください。

新しい医師 & 技師長が着任しました



いけだ じょうた
池田 譲太

専門分野 放射線科

経歴紹介

- 平成7年3月 兵庫医科大学卒業
- 平成7年5月 兵庫医科大学放射線科 研修医
- 平成9年5月 兵庫医科大学放射線科 医員
- 平成10年10月 市立芦屋病院 放射線科 勤務
- 平成15年7月 宝塚市立病院 放射線科 勤務

資格

日本医学放射線学会放射線診断専門医

ごあいさつ

市立芦屋病院には平成10年から5年間勤務していました。当時は研修明け間もなく、日々これ勉強と、無我夢中で仕事をこなしていた記憶があります。

その後他院へ転勤となり、10年余りが経過したところで、思いがけずトップとして「里帰り」させていただく運びとなりました。

放射線科は技術、装置とも正に日進月歩で、10年以上キャリアを積んでも「日々これ勉強」は少しも変わっていませんが、恩返しと思って精一杯尽力させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。



ごとう ひろし
後藤 博

専門分野 放射線技師

ごあいさつ

10月より放射線科技師長に着任しました。地域の皆様に安全・安心な検査(X線・CT・MRI・DEXAなど)を提供できるシステムづくりを整えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



1月の院内行事



芦屋病院

マチナーコンサート

日時：1月18日(日)
14時30分～
場所：外来ホール
黄色いピアノ前
出演：小西 一美(ヴァイオリン)
金澤 佳代子(ピアノ)
内容：震災から20年・新しい出発に
ニューイヤーコンサート

両親学級

※毎月第2土曜日開催

日時：1月10日(土)
10～12時
場所：3階東病棟
内容：お産の経過・
赤ちゃんとお風呂
対象：妊娠22週以降の妊婦と
パートナー5組
問い合わせ先：産婦人科外来
(電話は13時～16時)

糖尿病教室

1月9日	糖尿病の検査 フットケア・スキンケア 糖尿病の新しい薬	臨床検査技師 看護師 薬剤師
2月13日	糖尿病と併せて注意したい疾患 冬太り解消の運動療法 冬でも注意、食事療法	医師 理学療法士 管理栄養士
3月13日	糖尿病総まとめ	医師他

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

◆◆◆ 1万年の友 ◆◆◆

最も古い歴史を持つ家畜はイヌで、紀元前 1 万年頃に飼育されはじめたといわれています。ヒツジ、ヤギ、ブタはいずれも紀元前 8 千年頃に家畜化されました。ウシは紀元前 6 千年頃、ウマやロバは同じく紀元前 4 千年頃に家畜化されています。干支の十二支は往々にして動物が当てられていますが、十二の動物の中でも、ウシ、ウマ、ヒツジ、ニワトリ、イヌ、ブタは六畜と呼ばれて家畜です。中国最古の王朝、殷の時代（紀元前 1700 年頃～紀元前 1000 年頃）に干支の起源が求められますが、六畜はすでに人間社会では家畜として長い歴史を持つなじみの深い動物だったと考えられます。

人間との付き合いが約 1 万年にもおよぶヒツジは、大変有益な家畜のひとつです。羊毛はウールと呼ばれ、保湿性、保温性に優れた天然動物繊維として毛糸や毛織物の原料に重用されています。その品質を保証するウールマークは厳しい基準が設けられ、権威ある認定表示です。ウシやブタなどの家畜同様にヒツジの皮もシープスキンまたはヤンピーといわれて利用されます。羊皮には毛付きと抜毛の 2 種があります。羊毛付きの毛皮で羊毛を一定の長さに刈り込んだものはムートンと呼ばれ、敷物やジャケットなどに用いられ、羊毛部分が内側のジャケットは防寒衣料として実用性に富んでいます。抜毛羊皮は手触りがよいことから、コートやハンドバッグなど幅広い用途に向けられています。羊皮を紙のように薄く加工した羊皮紙は、紙が出現するまで中世西洋で筆写の材料として従来のパピルスと徐々に置き換わっていきました。現在も特別な文書などに高級材料として使用され、条件さえよければ 1000 年以上も保存が効くそうです。

羊肉も食材として余すところなく利用されます。羊肉は年齢によって名称が異なります。若い方からラム、ホゲット、

マトンと変化し、生後 1 年未満のラム肉が最も高価で、マトンは生後 2 年以上を言います。この点、ツバス→ハマチ→メジロ→ブリと成長するにつれ呼び名が変化し、出世魚と呼ばれて成魚ほど旨いというブリなどは反対です。ホゲットの定義は国によって異なりますが、ニュージーランドでは永久門歯が 1 本ないし 2 本の雌または去勢雄の羊肉を指します。いずれにしろ食用としてラムが最も臭みやクセがなく、脂肪も少なく軟らかくて旨味があります。羊乳はチーズに加工されることが多く、フランスのロックフォール・チーズなどがよく知られています。

人類に愛される家畜のヒツジは全世界で実に 10 億頭を超えて飼育されています。性格が穏和で従順で群れたがり、先導者に従う傾向が強いので、家畜の適性に合致しているためでしょう。言葉を換えると主体性がなく、付和雷同の性質の持ち主と言えます。ヒツジの持つ資質は家畜としては大歓迎ですが、ヒトに置き換えるといかなものでしょう。今年は未年ではありますが、誤った方向に誘導されないよう、しっかりと各界のリーダーを見つめていかなければなりません。医療界においても然りです。



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内

----- 交通案内 -----
 JR 芦屋駅、
 阪急芦屋川駅から

- タクシー 約5分
- バス 約15分
JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番
- 徒歩 約30分

市立芦屋病院の理念

基本理念
 生命の尊厳を基本とし、安全で良質な医療を提供します
 芦屋市の中核病院として、地域社会に貢献します

経営理念
 あい（愛）・しあわせ（幸福）・やさしさ（優しさ）

日本病院機能評価機構 認定施設 (ver.6.0)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1
 TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822
 ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>

※ 病院ネットワークバスもご利用下さい(無料)